

公益法人会計上の 区分	法 人
----------------	-----

◆平成27年度の活動評価

○各事業運営、各委員会活動については、公益法人としての責務を自覚するなか業務執行理事を中心として精力的に取り組み、概ね27年度計画通り実施することができた。

○組織の基盤である会員については、52名(他県士会への転出者2名を含む)が退会したものの、養成校卒業生や研修参加者への入会案内の配布等により69名の新規会員と他県士会からの転入者3名を迎えることができた。

○組織体制が社会福祉士の実践領域に基づき整理されたため活動に参加する会員の増加傾向がうかがえる。一方会員活動部への所属意識は会員により温度差があることも否めない。より参加しやすい環境づくりへ向け引き続き努力をしていきたい。

(1)事業・委員会の主となる活動

- 各事業の実施
- 会員管理 28年3月31日現在 正会員 1,139名(27年度の新入会員累計69名)、準会員 9名

(2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
会員総会	6月6日	新潟ユニゾンプラザ
理事会	5月15日、6月6日、8月21日、11月26日、2月26日	新潟ユニゾンプラザ
内部役員会	5月1日、6月6日、7月24日、10月23日、2月19日	会事務局
三役会議	1月30日	会事務局
会計監査(26年度会計)	5月8日	会事務局

(3)通年の基本活動

内容	実施状況
会員拡大に係る広報活動	各部門の研修で入会促進文書を配布
会員の倫理および行動規範に係る活動	会員に対する苦情について日本社会福祉士会と連携して対応
会員の自主活動支援	利用登録申請許可数:5グループ

## (4)その他

内容	実施状況
上越市いじめ問題再調査委員会	委員として武井恒美会員を推薦
社会福祉法人新潟県社会福祉協議会	評議員として星井勝博会長を推薦
一般社団法人新潟県老人福祉施設協議会	理事として渡辺陽一副会長を推薦
公益社団法人新潟県介護福祉士会	理事として星井勝博会長を推薦
社会福祉法人新潟県社会福祉協議会 新潟県日常生活自立支援事業 契約締結審査会	委員として松山茂樹会員を推薦
社会福祉法人新潟県社会福祉協議会 介護福祉士等修学資金貸付審査等運営委員会	委員として星井勝博会長を推薦
社会福祉法人新潟市社会福祉協議会 新潟市日常生活自立支援事業 締結審査会	委員として松山茂樹会員を推薦
社会福祉法人新潟市社会福祉協議会 新潟市日常生活自立支援事業 関係機関連絡会議	構成員として和田健治会員を推薦
一般社団法人新潟県介護支援専門員協会	専門・更新等研修講師として下記会員を推薦 松山茂樹会員、和田健治会員、立川和彦会員、梨本光枝会員、本間光子会員、坂井義道会員、佐野一美会員、斉藤保則会員、後藤俊之会員
社会福祉法人新潟県社会福祉協議会 「福祉の職場総合フェア2015」	相談員として高橋英樹会員(新潟会場)、本多崇人会員(長岡会場)を推薦
新潟県精神保健福祉センター	「平成27年度第1回地域移行支援強化研修会」講師として佐野一美会員を推薦
脳外傷友の会「スワン」	高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員として山賀亮一会員を推薦
社会福祉法人新潟県社会福祉協議会 総合企画部会小委員会(事業名:福祉職員研修受講支援事業)	委員として事務局次長・畠山が参加
関東甲信越ブロック都道府県社会福祉士会連絡協議会	3月19日開催、渡辺陽一副会長が参加
長野県社会福祉士会・山梨県社会福祉士会との基礎研修等の連携に関する意見交換会	11月28日開催、渡辺陽一副会長、事務局次長・畠山が参加
日本社会福祉士会事務局職員情報交流連絡会	1月23日開催、事務局次長・畠山、主任・熊島が参加

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	成年後見・権利擁護事業(ばあとなあ研修等事業、成年後見人養成研修事業)
担当部署等	権利擁護センター「ばあとなあ新潟」

◆平成27年度の活動評価

<p>本年度は、受任要請への対応や会員支援の強化を優先課題とし、体制の整備に重点的に取り組んだ。県下を6地区に分けて、各地区役員を中心に地区研修や業務監査を行った。地区研修は、4回実施し、最新情報の提供、事例報告や意見交換が活発に行われ、地区の会員間でより顔が見える関係もできてきた。初任者研修や実務者研修の実施も軌道にのり、参加者はかなり増えた。しかし、未参加の会員も少なくない。会員に対しての苦情が数件あり、研修等の自己研鑽を継続するよう働きかけていく必要がある。</p> <p>名簿登録者増加のため、養成研修の実施、名簿登録しない会員の創設などを行ったが、期待するほど名簿登録者は増加せず、それ以上に受任要請が急激に増加した。独立型の活躍もあり、本年度はどうか対応できたが、地区による偏りや名簿登録者の不足は否めず、更に厳しくなる恐れがある。</p> <p>法人後見について、ばあとなあの役員以外も委員に加えてプロジェクト会議を設置した。当会が法人後見を実施する意義から検討を行った。年度中の検討内容は中間報告としたが、検討課題は残っており次年度も継続する。</p> <p>本年度から、県社協の成年後見推進連絡会議を地区ごとに始まった。各地区に地区役員を派遣し、市町村に対して三士会で共同して、成年後見制度利用支援事業や首長申立の更なる推進を働きかけ、三士会が協力していく旨を申し入れた。市町村によって、成年後見制度への取組みに差があり、今後は、地区に応じた働きかけや協力を実施していくことも大切である。</p>
---

(1)事業・委員会の主となる活動

ばあとなあ会員登録者数	278名、うち名簿登録者247名(平成28年1月31日現在)
受任件数	441件(内訳:法定後見429件、任意後見12件)(平成28年1月31日現在)
平成27年度新規受任依頼受付	105件(平成28年1月31日現在。うち、推薦98件、断り5件、取り下げ2件)他、任意後見の相談あり

(2)通年の活動

活動内容(名称)	開催日	備考
運営委員会	4月11日、5月2日、6月6日、7月25日、9月6日、10月31日、11月14日、1月10日	
業務監査委員会	4月30日	
活動報告書チェック	定期活動報告:2015年8月、2016年2月 随時:新規受任、終了・引継完了報告提出時	
相談、普及・啓発等(相談対応、講師派遣(※)等)	随時	運営委員が対応
ばあとなあ新潟役職会議	4月30日	
法人後見検討プロジェクトチーム	12月6日、1月10日、2月6日、3月5日	

## (3) 研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
成年後見人養成研修(委託集合研修)	8月8日～11月14日 (5日間)	社会福祉士会会員 受講者29名 前年度再履修対象者2名	新潟ユニゾンプラザ
実務者研修(※地区研修と同日実施) ①介護保険制度について	5月16日(新潟) 5月23日(中越) 5月17日(上越)	ばあとなあ新潟会員 新潟:49名 中越:23名 上越:13名	新潟ユニゾンプラザ 研修・研究センター長岡 上越市民プラザ
実務者研修 ②終了事務、死後の事務(講師:司法書士)	11月28日(長岡) 12月12日(新潟)	ばあとなあ新潟会員 11月:22名、12月:32名	研究・研修センター長岡 新潟ユニゾンプラザ
実務者研修(※公開研修) 講師:池田恵利子氏	11月7日	ばあとなあ新潟会員49名、 他社会福祉士会会員16名、 非会員6名	新潟ユニゾンプラザ
初任者研修(第一部) ※初任者向け	6月13日 10月17日 12月12日 3月26日	ばあとなあ新潟会員 6月:5名、10月:4名、12 月:19名、3月:10名	新潟ユニゾンプラザ 研修・研究センター長岡
初任者研修(第二部) ※現任者研修も兼ねる	6月13日 10月17日 12月12日 3月26日	ばあとなあ新潟会員 6月:13名、10月:5名、12 月:25名、3月:14名	新潟ユニゾンプラザ 研修・研究センター長岡
地区研修(新潟)	5月16日 9月27日 12月5日 3月5日	ばあとなあ新潟会員 5月:49名、9月:21名、12 月:21名、3月:38名(下越 と合同)	新潟ユニゾンプラザ
地区研修(下越)	8月29日 11月21日 3月5日(新潟と合 同)	ばあとなあ新潟会員 8月:5名、11月:5名、3月: 38名(新潟と合同)	新発田市ボランティアセン ター さんさん館i 新潟ユニゾンプラザ
地区研修(中越・県央)	5月23日 9月27日 11月28日 2月13日	ばあとなあ新潟会員 5月:23名、9月:13名、11 月:21名、2月:20名	ハイブ長岡 県央メッセピア 研究・研修センター長岡
地区研修(上越)	5月17日 9月12日 12月12日 3月12日	ばあとなあ新潟会員 5月:15名、9月:13名、12 月:18名、3月:20名	柏崎エネルギーホール 上越市市民プラザ

地区研修(魚沼)	10月4日 12月5日 3月5日	ばあとなあ新潟会員 10月:11名、12月:13名 3月:18名	六日町ボランティアセンター サンクロス十日町 南魚沼市役所
地区研修(佐渡)	5月20日 7月28日 11月13日 2月12日	ばあとなあ新潟会員 5月:10名、7月:9名、11月:7名、2月:10名	新穂愛宕の園 あいぼーと佐渡
成年後見関連専門職合同研修 (テーマ:障害者権利擁護条約と成年後見制度、講師:上山泰先生)	7月25日	ばあとなあ新潟会員71名 他専門職51名	新潟ユニゾンプラザ
成年後見関連専門職三団体共同勉強会(※ばあとなあ、弁護士会、リーガルサポート)	11月21日	三士会会員(当会会員は14名参加)	新潟県司法書士会館

#### (4)その他活動 (※講師等派遣)

<p>&lt;研修講師派遣&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市石山地区公民館事業「知っておきたい成年後見人について」 6月5日 渡邊豊委員</li> <li>・新潟県認知症介護実践者研修「意思決定支援と権利擁護」 7月8日 大鳥恵美委員</li> <li>・障害者支援施設満日の里家族会研修会 7月8日 渡邊豊委員</li> <li>・柏崎市社協「市民後見人養成講座」 8月19日 渡辺信也理事、片岡敏明委員</li> <li>・新潟市地域包括支援センター新津学習会 9月18日 竹田一光委員</li> <li>・新潟市社協「新潟市市民後見人養成研修」 11~12月 林正海委員、江口哲央委員、大鳥恵美委員</li> <li>・妙高市「成年後見制度の研修会」 1月19日 松永久子会員</li> <li>・リーガルサポート新潟県支部「知的障がい者・精神障がい者のための福祉サービス」 2月6日 江口哲央委員</li> </ul> <p>&lt;委員等派遣&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟市社協「成年後見制度推進ネットワーク会議」 竹田一光委員</li> <li>・上越市地域包括支援センター運営協議会 片岡敏明委員</li> <li>・新潟市社協新潟市成年後見支援センター運営委員会 大鳥恵美委員</li> <li>・新潟市社協法人後見事業 法人後見運営委員会 大鳥恵美委員</li> <li>・魚沼市社協法人後見事業運営委員会 枝村英一会員</li> <li>・柏崎市社協法人後見運営委員会 渡辺信也理事</li> <li>・新潟県社協成年後見制度推進連絡会議 片岡敏明委員、清水知美委員、小林克太郎委員、山田一郎委員、竹前亮太郎委員、竹田一光委員、大鳥恵美委員</li> </ul> <p>&lt;その他&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・村上市からの成年後見人候補者等へのアンケート協力</li> </ul>
---

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	高齢者虐待対応事業
担当部署等	事業活動部 : 虐待対応専門職チーム

◆平成27年度の活動評価

<p>○新潟県からの受託事業である「高齢者権利擁護相談支援事業」として、新潟県弁護士会と連携して、県内市町村及び地域包括支援センターの実施する権利擁護業務の後方支援を行った(下記(1))。定例で行っている専門職チーム運営協議会において、相談事例の対応を振り返ることを始め、専門職チーム対応力の向上に努めた。事業のひとつである「事例検討会」は『セルフネグレクトへの対応』をテーマとして実施した。セルフネグレクトは対応事例が少なくその理解が曖昧になりがちである中、判断根拠や支援のプロセスの基本を確認できた研修となった。</p> <p>また、高齢者虐待対応専門職チーム員となる新たな人材の育成方法について検討を行った。</p> <p>○障害者虐待については、新潟県障害者虐待防止対策支援事業に基づく支援専門委員を推薦しているが、実際の派遣実績は少ない状況である。支援専門委員がより適切に機能するための障害者虐待対応のあり方について、28年度に弁護士会への申し入れを行う予定である。</p>
--

(1)事業・委員会の主となる活動

高齢者虐待対応に関する活動	市町村および地域包括支援センターにおける高齢者の権利擁護対応への後方支援 (※新潟県弁護士会と当会による高齢者虐待対応専門職チームによる相談対応、「新潟県高齢者権利擁護相談支援事業」として実施)		
	①アセスメントシートによる相談 7 件		
	対応内訳	●検討部会の開催	7 回
		●チーム派遣	6 回
●来所相談		1 回	
②電話相談 1 件			
障害者虐待対応に関する活動	新潟県障害者虐待防止支援専門委員の推薦		
	新潟県自立支援協議会権利擁護部会への委員派遣 12月25日 安藤清彦委員		

(2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
運営委員会	4月6日、8月24日、1月28日	会事務局
高齢者虐待対応専門職チーム運営協議会	9月14日、3月24日	新潟ユニゾンプラザ

(3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
事例検討会 (新潟県高齢者権利擁護相談支援事業)	3月28日	市町村担当者、地域包括支援センター	新潟ユニゾンプラザ

#### (4)その他活動

##### <講師派遣>

- ・新発田市「高齢者虐待対応初任者研修」 5月19日 佐藤正枝委員、峯嶋直美委員
- ・新潟県「高齢者虐待防止ネットワーク運営研修」 6月4～5日 佐藤委員、峯嶋委員、池内明委員、高橋英樹委員
- ・新潟県南魚沼地域振興局「ご近所安心見守り隊講座」 6月15日 山田一郎委員
- ・新発田市地域包括支援センター研修 7月16日 宮下美知子委員
- ・三条市 虐待防止研修 10月16日 宮下美知子委員
- ・五泉市 高齢者虐待に関する事例検討会 10月2日 高橋英樹委員
- ・新潟県長岡地域振興局 平成27年度高齢者虐待防止対策従事者研修会 11月24日 佐藤正枝委員
- ・新潟県福祉保健部高齢福祉保健課 地域包括支援センター職員研修 11月27日 佐藤正枝委員、宮下美知子委員

##### <日本社会福祉士会主催研修への参加派遣>

- ・「市町村・都道府県のための養介護施設従事者等による高齢者虐待対応現任者標準研修」講師予定者研修会 12月5日～6日 宮下美知子委員

公益法人会計上の 事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	地域密着型サービス外部評価事業 福祉サービス第三者評価事業
担当部署等	外部評価機関「あいエイド新潟」

#### ◆平成27年度の活動評価

新潟県から選定された地域密着型サービス外部評価機関、また、新潟県から認証された福祉サービス第三者評価機関、全社協から認証された社会的養護関係施設第三者評価機関として評価事業を実施した。

地域密着型サービス外部評価については、評価制度がより意義のあるものとして活用されるよう前年度に引き続き公開講座を開催した。また、新潟県担当課(国保・福祉指導課)にもこれまで以上の協働を働きかけ、県担当者から訪問調査に同行してもらったり、調査員のフォローアップ研修に参加してもらったなどした。評価実績は、小規模多機能型居宅介護事業所が評価機関による外部評価の対象外となったことから、前年度より大きく件数を減らした形となった。

第三者評価については、県が実施する事業所説明会への講師派遣に際して『自己評価を活用した質の向上』への取組促進を意識した講義を行うようにした。受講者アンケート結果(県提供)の感触では概ね効果的だったと考えられる。28～29年度は評価予定件数が多くなっており、円滑な評価実施と併せて、新任者(OJT、集合研修)の育成を重点的に行いたい。

地域密着・第三者評価ともに27年度は複数回の調査員勉強会を実施したが、参加者が少なく且つ固定化していることが課題であり、28年度は内容や実施方法により一層の工夫をしながら調査員の質の向上を図りたい。

#### (1)事業・委員会の主となる活動

＜地域密着型サービス外部評価実施＞	
認知症グループホーム評価実施	55件（※訪問調査は8月からスタート）
＜福祉サービス第三者評価＞	
評価実施中	【高齢者施設・事業所】 3件(一体的に評価) 【保育所】 1件
評価確定	【障害者施設・事業所】 障害福祉サービス事業所 2件(※26年度実施開始分) 障害者支援施設 1件 【社会的養護】 母子生活支援施設 1件 【認定こども園】 1件

#### (2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
あいエイド新潟運営委員会	5月16日、7月11日、9月26日、1月23日	会事務局
あいエイド新潟運営委員会作業部会 (地域密着)	4月18日	会事務局



### (3) 研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
第三者評価調査員勉強会 (講師:伊東一男氏、保育所をとりまく動きについて)	平成27年10月3日	第三者評価調査者 13名	研究・研修センター長岡
第三者評価調査員勉強会 (公開講座とする、講師:新津ふみ子氏)	平成27年10月31日	第三者評価調査者 13名 福祉施設・事業所 13名	研究・研修センター長岡
第三者評価調査員勉強会 (ヒアリングのポイント)	平成28年2月6日	第三者評価調査者 12名	新潟ユニゾンプラザ
地域密着型サービス外部評価調査員全体研修(初任者研修兼ねる)	平成27年5月16日	地域密着型サービス外部 評価調査員 20名	新潟ユニゾンプラザ
地域密着型サービス外部評価調査員勉強会(講師:ちゅーりっぷ苑 新野直紀氏)	平成27年9月26日	地域密着型サービス外部 評価調査員 8名	新潟ユニゾンプラザ
地域密着型サービス外部評価登録更新 フォローアップ研修	平成28年3月24日	地域密着型サービス外部 評価調査員 27名	新潟ユニゾンプラザ
あいエイド新潟公開講座「サービス評価を“活かす”には」	平成28年1月23日	地域密着型サービス事業 所、市町村担当者、評価 調査員等 47名	新潟ユニゾンプラザ

### (4) その他活動

<p>&lt; 研修等への参加派遣 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新潟県(国保・福祉指導課)主催「第三者評価機関意見交換会」7月21日 一ノ瀬里絵子委員・事務局</li><li>・全社協「福祉サービスの質の向上推進委員会高齢者部会」田崎基委員</li><li>・全社協「評価調査者リーダー研修会(保育所)」2月15日～16日 猪俣陽子委員</li></ul> <p>&lt; 講師等派遣 &gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新潟県(国保・福祉指導課)主催「福祉サービス第三者評価受審事業者説明会」田崎基委員(7月24日)、一ノ瀬里絵子委員(8月4日)</li><li>・新潟医療福祉カレッジ研修「第三者評価調査者から見た福祉サービスの優れた取組み」9月9日 田崎基委員</li><li>・新潟県(国保・福祉指導課)主催「福祉サービス第三者評価調査者継続研修」11月11日 田崎基委員</li><li>・新潟県(国保・福祉指導課)主催「福祉サービス第三者評価受審事業者説明会」12月10日 一ノ瀬里絵子委員</li></ul>
---

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉士の専門性を高めるための事業(基礎研修、階層別研修等)
担当部署等	生涯研修センター

◆平成27年度の活動評価

①平成27年度より「基礎研修Ⅲ」を開講し、生涯研修制度基礎課程の全課程を実施した。平成28年3月末には、22名の受講生が基礎課程を修了している。  
 ②基礎研修Ⅱの集合研修については、参加者の利便性を考慮し、県内2会場(燕市と新発田市)で開催するほか、基礎研修ⅡおよびⅢについては、長野県と山梨県と集合研修の日程を調整し、出席できない日がある受講者に対しては振替受講ができるよう配慮した。数名の受講生が他県で受講し、また他県から受講生を受け入れるなど、成果があった。  
 ③当年度より基礎課程については、研修資料のほか、基礎研修Ⅰ～Ⅲのテキストとワークブックを受講生に配付し使用したことで、集合研修、事前学習ともに円滑に進めることができ、研修効果を高めることができた。

(1)事業・委員会の主となる活動

下記(3)参照

(2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
生涯研修センター運営委員会	5月17日、7月11日、9月5日、1月9日	会事務局

(3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
基礎研修Ⅰ (集合研修2日間+課題レポート)	(集合研修) 8月29日、1月16日	社会福祉士 受講者53名(うち、前年度 再履修者1名)	燕市老人集会センター
基礎研修Ⅱ (集合研修9日間+課題レポート) ※A日程、B日程を設定	(集合研修) 5月～2月	基礎研修Ⅰ修了者 受講者28名(うち、前年度 再履修者3名)	【A日程】燕市老人集会センター 【B日程】新発田市ボランティアセンター
基礎研修Ⅲ (集合研修10日間+課題レポート)	(集合研修) 5月～2月	基礎研修Ⅱ修了者 受講者22名	新潟ユニゾンプラザ、燕三条地場センター

(4)その他活動

<日本社会福祉士会主催研修、会議への参加派遣>  
 ・2015年度全国生涯研修委員会議 9月26日～27日 稲田泰紀委員が参加  
 ・基礎研修講師養成研修 11月7日 渡辺陽一理事、稲田泰紀委員、早川義明委員が参加

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(福祉的な支援を必要とする矯正施設の退所予定者の社会復帰の支援を行う事業)
事業内容	地域生活定着支援
担当部署等	新潟県地域生活定着支援センター(新潟県地域生活定着促進事業)


◆平成27年度の活動評価

○センター開所後、4年を経過したが、コーディネート件数は、最多の39件を数えた。27年度は予算が削減されたため、職員3人から2.5人に減じての活動であったため多忙を極めた。

○主な業務である特別調整対象者への支援以外にも地域の相談事業所(地域包括支援センターや基幹型相談事業所など)や行政機関、弁護士等から地域に暮らす犯罪歴のある人への支援に関して協力を求められることが増えてきている。事業予算減少が続くなか業務の精査が必要であり、県とも協議していきたい。

○受け入れ先の開拓にはいまだ十分な活動ができているといいがたいが、対象者の個別支援を各地域で進めていく中で当センターに対する理解と具体的な活動への協力を求めている。

(1)事業・委員会の主となる活動

1. コーディネート業務(特別調整対象者)			
①開始件数	保護観察所からの依頼	他県センターからの依頼	計
	17	15	32
②終了件数	矯正施設から退所し受入先に帰住	その他(他県+途中で拒否)	計
	14	11	25
 【受入先内訳】 自立準備ホーム 6 ケアハウス 1 アパート 1 更生保護施設 4 救護施設 1 自宅 1			
2. コーディネート業務(一般調整対象者)			
①開始件数	保護観察所からの依頼	他県センターからの依頼	計
	7	0	7
②終了件数	矯正施設から退所し引受人のもとに帰住	その他	計
	3	0	3
3. フォローアップ業務(コーディネート実施後のフォローアップ)			
	開設時からの継続件数	今年度開始	終了件数
	25	20	25
			支援継続中
			20
4. 相談支援業務(矯正施設を退所した本人や関係者からの相談対応)			
	開設時からの継続件数	今年度開始	終了件数
	15	13	13
			支援継続中
			15

(2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
対象者協議会	6月4日、7月29日、10月15日、11月24日、2月15日	新潟川岸寮・新潟保護観察所
連絡調整会議	5月15日、6月24日、8月31日、10月5日、1月15日 3月18日	新潟刑務所
特別調整連絡協議会	12月15日	保護観察所

特別調整事務レベル協議会	2月23日	保護観察所
薬物事犯にかかわる連絡協議会	2月4日	保護観察所
医療に関する協議会	11月27日	新潟刑務所
県との定例報告会	8月19日	県庁
全定協関東ブロックセンター長会議	5月21日、9月3日、3月3日	さいたま市

### (3)その他活動

#### <研修参加>

- ・司法福祉研究会 5月24日、9月13日
- ・司法福祉学会 8月8日～9日
- ・社会福祉士会受託合同研修会 8月27日～28日
- ・新潟マック主催研修(依存症の対応) 9月5日、3月5日
- ・就労フォーラム 10月31日
- ・農福連携研修 12月18日
- ・全定協関東ブロック研修 12月17日～18日
- ・トラブルシューター研修 12月26日
- ・全国スキルアップ研修 1月26日～27日
- ・リーガルソーシャルワーク研修 2月27日
- ・新発田市トラブルシューター研修 3月19日

#### <その他活動>

- ・下越圏域障害者地域生活支援連絡調整会議(センターの支援状況報告) 8月6日
- ・中央区保護司会会議(センターの支援状況報告) 9月16日
- ・刑務所公開授業見学 11月11日
- ・新潟青陵大学講師「司法福祉分野におけるソーシャルワークとは」 12月19日
- ・西蒲区、南区ソーシャルワーカー協会会議(センター活動報告) 1月15日
- ・新潟県弁護士会「地域生活定着支援センターの役割と弁護士との連携」 2月3日

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉に関する知識・技術の普及・啓発事業／社会福祉士の専門性を高めるための事業
担当部署等	企画部(法人研修班)

◆平成27年度の活動評価

・企画部法人研修班では、社会福祉士の共通な知識の基盤となるための研修機会の提供を行ってきた。  
 ・権利意識の知識獲得を図るための研修を、違う視点から開催し、多くの参加者を得ることができた。  
 ・前年度より、新潟県社会福祉協議会と共催で行っていた、相談員スキルアップセミナーを27年度も開催。2会場での開催としたが、どちらも好評であった。  
 ・ぱあとなあ新潟より、福祉関係者のための成年後見活用講座(入門編・ステップアップ編)の運営を引き継いだ。例年と同様の実施ではあったが、会員・非会員問わず多くの参加者があり、引き続き地域での興味の高さがうかがえる。  
 ・SWDは他の2団体と共に企画運営を行っている。学生の参加が多く、資格取得へ向けての普及啓発の役割を果たすことができています。  
 ・年1回の会員交流企画を開催。様々な職種の会員が集まり、交流を深めることができた。人数も全体で交流が図れる、ちょうどよい人数であった。参加者からは、継続開催の要望が聞かれた。

(1)事業・委員会の主となる活動

下記(3)参照

(2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
法人研修班運営委員会	5月16日、8月1日、10月4日、1月14日(スカイプ)	新潟ユニゾンプラザ
ソーシャルワーカーデー企画会議(MSW協会、PSW協会と合同)	4月11日、7月4日、8月8日、1月16日	新潟ユニゾンプラザ

(3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
全体研修「利用者の権利を守る組織づくり」(講師:星名究氏(障害者支援施設なかまの家))	6月6日	会員、福祉関係者等 会員80名、非会員15名	新潟ユニゾンプラザ
全体研修「利用者の権利を守る地域づくり」(講師:川本健太郎氏(敬和学園大学))	8月1日	会員、福祉関係者等 会員14名、非会員6名	新潟ユニゾンプラザ
ソーシャルワーカーデーにいがた2015	7月26日	学生、現役ソーシャルワーカー、一般県民等 参加者107名(うち、会員20名、学生46名)	新潟ユニゾンプラザ
福祉関係者のための成年後見活用講座(入門編)	【新潟】8月6日 【県央】8月21日	福祉関係者 新潟74名、県央58名	新潟ユニゾンプラザ 燕三条地場産センター
福祉関係者のための成年後見活用講座(ステップアップ編)	【新潟】10月20日 【長岡】10月28日	福祉関係者 新潟58名、長岡31名	新潟ユニゾンプラザ ハイブ長岡

<p>相談員・支援員のためのスキルアップセミナー(講師:久田則夫氏(日本女子大学))</p>	<p>【県央】11月2日 【新潟】1月6日</p>	<p>相談援助職員 県央106名 新潟103名</p>	<p>燕三条地場産センター 新潟ユニゾンプラザ</p>
--	-------------------------------	-------------------------------------	---------------------------------

#### (4)その他活動

<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康長寿延伸フォーラム(11月15日、新潟県民医療推進協議会(健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会)主催)での展示ブース設置(新潟県精神保健福祉士会と共同)</li> <li>・会員交流会開催(2月27日)</li> </ul>
--

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	社会福祉に関する知識・技術を普及・啓発する事業/社会福祉士の専門性を高めるための事業/調査研究事業
担当部署等	会員活動部

◆平成27年度の活動評価

高齢	<p>高齢者分野で注目のキーワード「地域包括ケア」をテーマとしてとりあげた。私たち社会福祉士がどのような役割を果たすのか・期待されている役割は何かを確認するための全体研修会を開催した(高齢者分野に関わらず、広く会員外の社会福祉士や相談援助に携わる福祉関係者にも公開)。地域のどこに社会福祉士がいて、どのような業務・活動を行っているのかを知ることで顔の見える関係づくりの第一歩とすることを目的としたが、一度の全体研修で達成することは難しい。全体研修を受けて、各地区活動でも取り組み、そこでは顔の見える関係作りの第一歩となった。</p> <p>次年度も同じテーマで全体研修会・地区活動を企画していくことで目標達成が期待できる。</p>
障害	<p>障害者支援班の研修は、当初妙高市の池の平温泉にて一泊で実施すべく計画された。しかしながら参加希望者が低調で、一泊での開催に無理が生じた。このため急きょ会場を長岡に移し、日帰りの研修として再計画実施した。コンセプトの「聴く！知る！語る！」がフォーカスしたのは、障害者権利条約であり自立支援協議会であり仲間との交流であった。実際の内容は時宜に適ったものであったと自負しているが、参加者の飛躍的増大には至らなかった。28年度は他の研修が混み合わない、早い時期の開催を目指す。</p>
生活支援	<p>人々の社会生活上の諸問題が多様化・複雑化しており、社会福祉士の専門性の向上とともに実践領域の拡大の必要性が増している。当班は、多領域を対象としており、27年度は、様々な分野の実践者から報告頂いたり、多問題ケースのグループワークを行った。日頃の業務では、得難い知識を収得することができるとともに、ソーシャルワークに共通するストレングスやチームアプローチ(連携・協働)の大切さを再認識する機会となった。領域が広いため取り上げられなかった領域があり、28年度で実施していくとともに、今後の活動方法について検討していく必要がある。</p>
人材・SV	<p>実習指導者支援としてフォローアップ研修を開催した。施設・事業所と養成校との連携を主たるテーマとし、実践報告や、受講者と養成校教員とのグループワークを行った。社会福祉士の育成に対する互いの考え方を共有できたことが大変有意義だったとの声が多かった。28年度は実習指導者講習会実施年度であり当初フォローアップ研修は実施しない予定だったが、フォローアップへのニーズが高いため28年度も企画する。</p> <p>また、27年度からスーパービジョン支援を開始し、申込を受け仮マッチングを支援したのは27年度は3組だった。スーパービジョンそのものに対する理解や知識が浸透していない状況が見受けられ、その啓発への取組を要する。</p>
社会問題	<p>平成27年9月に運営委員会が組織されて動き始めたが、「社会問題」という広いテーマをどう扱っていくか…どこまで範囲を広げるか…など、まだまだ検討を要する。その中で所属会員にアンケートを行い、また平成28年度早々に研修会を開催するなど、一歩ずつながらも確実に検討が深まっている実感も得ている。平成28年度も継続して、この新しい班活動を成長させていきたい。</p>

(1)事業・委員会の主となる活動

下記(3)参照
---------

## (2) 定例会議

会議名称	開催日	開催場所
高齢者支援班運営委員会	4月19日、11月8日、1月17日	会事務局
障害者支援班運営委員会	2月8日(スカイプ)、他随時メーリングリストで協議	
生活・更生保護、児童家庭支援班運営委員会	4月19日、7月26日、9月26日、11月28日	新潟ユニゾンプラザ
人材育成・スーパービジョン支援班運営委員会	9月9日	会事務局
社会問題研究班運営委員会	9月5日、9月26日、10月31日、12月26日、1月23日、2月27日	新潟ユニゾンプラザ

## (3) 研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
<b>【高齢者支援班】</b>			
全体研修「地域包括ケア あなたは何をする人？～社会福祉士の役割～」	11月20日	社会福祉士等74名	新潟ユニゾンプラザ
佐渡地区勉強会「地域包括ケアを成功させるために何をすべきか」	9月26日	社会福祉士等15名(会員11名、非会員4名)	新穂愛宕の園
中越地区勉強会「社会福祉士の共通基盤を改めて考える」	2月20日	社会福祉士等17名(会員15名、非会員2名)	サクラレ福住
魚沼地区勉強会「わが町の『地域包括ケア』を語る」	2月27日	社会福祉士等16名(会員13名、非会員3名)	ふれ愛支援センター
新潟地区勉強会「他職種連携を越えて他分野連携へ」	3月11日	社会福祉士等11名(会員9名、非会員2名)	巻地区公民館
上越地区勉強会「地域包括ケアあなたは何をする人？上越編」	3月12日	社会福祉士等27名(会員25名、非会員2名)	上越市福祉交流プラザ
県央地区勉強会「在宅医療・介護連携推進事業について」	3月25日	社会福祉士等10名(会員7名、非会員3名)	三条済生会病院
下越地区勉強会「私は誰と繋がれば適切な支援ができるのか？」	3月26日	社会福祉士等14名(会員9名、非会員5名)	新発田市ボランティアセンター
<b>【障害者支援班】</b>			
障害者支援研修「聴く！知る！語る！」	10月24日	障害者支援に携わる方22名	研究・研修センター長岡
<b>【生活・更生保護、児童家庭支援班】</b>			
HOTトークセッション「ソーシャルワークの“今”を語る」	【新潟】7月4日 【長岡】7月11日	【新潟】120名、【長岡】57名	新潟ユニゾンプラザ サンライフ長岡
HOTトークセッションpartⅡ「ソーシャルワークの実践」を語ろう～連携と協働～」	【新潟】11月28日 【長岡】2月13日	【新潟】28名、【長岡】29名	新潟ユニゾンプラザ 研究・研修センター福住
学ぼう「子どもの権利擁護」～ハーグ条約&自立援助ホーム～	2月20日	36名(会員25名、非会員11名)	新潟ユニゾンプラザ
<b>【人材育成・スーパービジョン支援班】</b>			
実習指導者フォローアップ研修	2月18日	42名(会員32名、非会員10名)	県央メッセピア



【社会問題研究班】

※研修・講座等の実施はなし

(4)その他活動

<日本社会福祉士会主催研修、会議への参加派遣>

・地域包括支援センターネットワーク実践力養成研修 9月12日～13日 高橋愛委員・坂井万里央委員(高齢者支援班)

<その他>

・新潟県歯科医師会「第6回北信越障害者歯科臨床研究会」講師 6月28日 竹田一光会員・貝沼静江会員

・新潟県社会福祉現場実習等大学間連絡会 7月31日 遠藤真一理事(人材育成・SV班担当)

・佐渡市地域包括ケア会議委員として小菅宏卓委員(高齢者支援班)を推薦

・(福)愛宕福社会相談員部会「相談援助研修会」講師 11月27日 林正海会員

・新潟県民医療推進協議会(健康寿命延伸にかかる多職種協働推進委員会) 8月27日、10月27日 小山弓子理事(高齢者支援班担当)

公益法人会計上の事業区分	公益目的事業(社会福祉の増進に寄与する事業)
事業内容	福祉社会を担う人材を養成する事業(国家試験対策講座、統一模擬試験)
担当委員会等	事務局 (各養成校担当教員と連携)

◆平成27年度の活動評価

<p>①「社会福祉士国家試験対策講座」の受講者は昨年度に比べ14名、模擬試験受験者は10名いずれも上回った。またアンケートから各科目の時間配分、日数、開催時期については概ね「良い」との評価であった。講義内容についてもほぼ全科目にわたり「参考となった」との評価であった。アンケート結果について講師にも開示し、次年度の講座に反映させたい。</p> <p>②「社会福祉士全国統一模擬試験」は、昨年度より63名多い293名の参加を得た。</p>
--

(1)事業・委員会の主となる活動

下記(3)参照
---------

(2)定例会議

会議名称	開催日	開催場所
国家試験対策講座打ち合わせ(新潟医療福祉大学、中央法規出版と)	(2015年3月10日に実施)	新潟医療福祉大学
全国統一模擬試験打ち合わせ	9月16日	会事務局

(3)研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	開催場所	参加対象・人数
社会福祉士国家試験受験対策講座(新潟医療福祉大学・敬和学園大学・中央法規出版(株)との共催)	講義5日間 (7月26日、8月22日、9月13日、10月17日、11月1日) 模試および「合格体験談を聞こう」(11月15日)	新潟ユニゾンプラザ	社会福祉士国家試験受験予定者 講義:83名 模試:79名
社会福祉士全国統一模擬試験	10月4日	新潟ユニゾンプラザ	社会福祉士国家試験受験予定者 293名(一般38名、学生255名)



公益法人会計上の 事業区分	その他事業
事業内容	調査研究事業
担当部署等	広報部

◆平成27年度の活動評価

平成27年度は実践報告集の発刊を8月に変更したりパンフレットの作成など、拡大変遷する社会福祉士会活動に応じて広報の在り方等の検討を重ねた1年だった。その右往左往で平成28年8月に発刊する実践報告集の編集作業が押してしまっているが、熱意ある会員から執筆の快諾をいただけて感謝するとともに、新潟県社会福祉士の深い力量を再確認できて感動した。

その熱い実践を会員に届けるべく、来年度はスカイプ等を活用して、集合会議のみならず柔軟な会議形態を模索して、綿密な打ち合わせに基づいて更なる広報活動を展開していきたい。またパンフレットも完成を目指して検討を重ねていく。

(1) 通年の活動(事業・委員会の主となる活動)

- ①社会福祉士実践報告集発行  
「新潟社会福祉士第14号」の発刊(平成27年8月発刊)  
「新潟社会福祉士第15号」(平成28年8月発刊予定)の企画・編集作業
- ②事務局だよりの発行  
第1号 4月20日、第2号 5月20日、第3号 7月1日、第4号 8月20日、第5号 10月15日、  
第6号 12月10日、第7号 2月15日
- ③会パンフレットの内容検討

(2) 定例会議

会議名称	開催日	開催場所
広報委員会	4月18日、6月20日、8月22日、10月24日、12月19日、2月13日	会事務局 10月は「こぶし園」

公益法人会計上の事業区分	その他事業
事業内容	調査研究事業
担当部署等	企画部(災害支援班)

◆平成27年度の活動評価

新設の企画部に位置付けられた災害支援班では、災害時の県士会としての支援のあり方などについて検討を重ねた。この中で、日本社会福祉士会の災害対応ガイドラインなどを参考とし、災害時に各種関連団体における動きと絡まないことを考慮して、県士会独自のガイドライン及びマニュアルを策定した。また、災害支援活動に従事できる可能性のある会員が100名を超えることが把握でき、昨年の関東豪雨災害時には、災害に関わる情報交換メールアドレスの登録依頼を行ったところ、30名程度の登録があった。策定した災害対応マニュアルの実効性を担保する災害対応の組織化や人材養成については、次年度へ持ち越す課題となった。

(1) 事業・委員会の主となる活動

会議名称	開催日	開催場所
災害支援のあり方検討・企画会議	4月25日、7月11日、9月26日、1月30日	会事務局

(2) 研修、講座等

研修・講座等名称	開催日	参加対象・人数	開催場所
※当初、「災害支援研修(仮)」実施予定としていたが、平成27年～28年度の日本社会福祉士会伝達研修を経て、29年度から都道府県へ「災害支援活動者養成研修」運営が移管されることをふまえ、研修の実施は29年度以降とした。(1月30日会議にて)			

(3) その他活動

<日本社会福祉士会関係の研修、会議への参加派遣>

- ・災害支援活動者養成研修 12月5日～6日 三浦修委員、藤川成康委員
- ・関東甲信越ブロック社会福祉士会災害連携会議 10月24日 星井会長出席

<その他>

- ・新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会への参加(担当:立川和彦理事)
- ・新潟県災害リハビリテーション連絡協議会への参加(担当:三浦修委員)

公益法人会計上の 事業区分	その他事業
事業内容	日本社会福祉士会への支援・連携

◆平成27年度の活動評価

日本社会福祉士会からの要請に応じて各委員会や会議に委員を派遣するとともに、業務委託をうけた成年後見人養成研修、基礎研修を実施するなど連携強化に努めた。

(1) 通年の活動(事業・委員会の主となる活動)

- ① 委員会委員の派遣
  - ・地域包括ケア推進委員会(高齢施設班) 高橋是司会員
  - ・地域包括ケア推進委員会(高齢在宅班) 佐藤正枝会員
  - ・生涯研修センター企画・運営委員会 高野八千代会員
- ② 権利擁護に関する業務支援
  - ・ばあとなあ概況調査への協力 等
- ③ 研修業務の受託
  - ・成年後見人養成研修
  - ・基礎研修 I ～ III